

御嶽海後援会便り NO. 36

令和7年6月26日

令和7年五月場所 東十両筆頭 8勝7敗

1年ぶりの勝ち越し 1場所で幕内へ

六月より猛暑日を記録し、夏本番を思わせるこの頃ですが、会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

御嶽海関は、三月場所で負け越し、進退が心配されましたが、十両での土俵で幕内復帰をかけ、五月場所に臨みました。

初日、幕内で新入幕の栃大海関との取組が組まれましたが、足が運べず叩き込みで敗れ、今場所も不安な出だしとなりました。二日目、英乃海関を一方的に攻めて押し出し、初日を出しました。三日目、新鋭の草野関に屈しましたが、四日目、宝富士関との取り直しの一番を制し、2勝目をあげました。五日目、初顔の藤青雲関にいいところなく敗れ、序盤戦を2勝3敗で終えました。

六日目、白熊関に先場所に続き攻め込まれましたが、土俵際で体を入れ替え、反応よく上手出し投げ勝負をつけました。七日目、初顔の白鷹山関に両差しをねらい前に出ようとしたが、体を入れ替えられ、押し出しで敗れました。中日、幕内で何度も対戦している輝関を出足良く押し出し、九日目も幕内で対戦がある錦富士関を会心の相撲で押し出し、今場所初の連勝となり、白星も先行させ、勝ち越しに向け、後半戦を迎えることになりました。

十日目、さらに白星を先行させたいところでしたが、初顔で新鋭の若碇関に敗れ、星が五分に戻りました。十一日目も初顔の日翔志関でしたが、立ち合いから先手を取り、寄り切り、初顔との連敗も5で止めました。十二日目も初顔の大青山関との一番も制し、勝ち越しまであと1番となりました。十三日目も初顔の琴栄峰関でしたが、いいところなく敗れ、勝ち越しはなりませんでした。十四日目、友風関との久しぶりの対戦を制し、1年ぶりの勝ち越しを決め、1場所での幕内の復帰が見えてきました。千秋楽も白星を重ねたいとことでしたが、初顔の欧勝海関に敗れ、8勝7敗で場所を終えました。

優勝は、先場所に続き大関大の里関（14勝1敗）で、13日目に4度目の優勝を決め、初土俵から13場所で横綱昇進を決めました。今回も場所を振り返り、紙面とします。

東十両筆頭としての五月場所

御嶽海関からのひとこと



場所前 まだ取らないといけないと思っている。1場所で幕内に戻りたい。きれいな相撲を目指す必要はないかな、がむしゃらに怖がらず相撲を取るしかない。やっぱり強い御嶽海を見せたい。

場所を終えて (初顔の年下の対戦2勝7敗) 強いし、勢いがあるなと感じる。

来場所に向けて 初優勝を飾った駿の良い場所、名古屋は暑いところなので、もっと熱く応援してもらえたなら。体と相談しながら、勝ち越しを目指したい。

場所	勝敗	取組	決まり手	コメント (各報道・情報機関からの要約)
初日	●	前十八 栃大海	(叩き込み)	「もう、見たまんまでしよう。苦痛ですよ。」
二日目	○	十二 英乃海	(押し出し)	「今日から。ここから。」
三日目	●	十筆頭 草野	(送り出し)	「強かったです。間違いなく強い。」
四日目	○	十三 宝富士	(押し出し)	「意地のぶつかり合いだった。次につながる。また良い相撲がとれるんじゃないかなという感覚がある。」※取り直し後の1番で1分40秒ほどの長い相撲を制す。
五日目	●	十二 藤青雲	(寄り切り)	「やることは限られている。あと10日間、頑張ります。」 ※同学年の北勝富士関が引退
六日目	○	十三 白熊	(上手出投げ)	「相手の分析などしていない。自分のやることをやるだけ。白星につながったのがなにより。」
七日目	●	十四 白鷹山	(押し出し)	「切り替えて頑張ります。」

中　日〇十四　輝　　(押し出し) 「足が良く前に出たね。良かったよ。まだまだこれから。前に出る相撲を取っていく。」

九　日目〇十五　錦富士(押し出し) 「今の精いっぱいを出せている。一日一番、集中してやる。後半戦まで連敗しなかったのはいいと思う。」

十　日目●十五　若　　碇(押し出し) 「初顔は何をしてくるか分からぬ、というのがある。」～取材に応じず～

十一日目〇十六　日翔志(寄り切り) 「まあ、頑張ります。」

十二日目〇十六　大青山(突き落とし) 「体がよく動いた。しっかりと足が出せたのが良かった。まだ3番あるから気を抜かないでやっていきたいね。」

十三日目●十七　琴栄峰(寄り切り) 「見ての通り。あと2日しかない。気合いを入れて頑張る。」

十四日目〇十七　友　　風(押し出し) 「学生時代からやっている相手。一つのミスが負けにつながるから慎重に取った。久しぶりだからね。うれしい。連敗しなかったのが大きかった。自分のいる場所は、もっと上だと思ってる。」

千秋楽●十九　欧勝海(寄り切り) 「まわしをねらってくると思った。バチンと当たってきてほしかった。」

○出羽海部屋木曽合宿始まる

6月25日(水)に木曽町へ入った高崎親方、御嶽海関、力士一行は、同日夜に開催された歓迎会(実行委員会主催)に出席し、合宿をスタートさせました。新築された「木曽町総合トレーニングセンター」と改修された「木曽町相撲場」において、稽古を重ね、名古屋場所に向かいます。



○二枚目の優勝額、本後援会へ寄贈、木曽町総合トレーニングセンターへ設置

木曽合宿に先立ち、6月25日(水)夕方、御嶽海関より本後援会への贈呈式が行われました。優勝額は、合宿で使用している木曽町総合トレーニングセンターに設置されました。



七月場所(名古屋場所)は、御嶽海関にとってご当所場所になります。地元で英気を養い、より声援を受けての場所になります。会場は、新築されたIGアリーナ(愛知国際アリーナ)で開催となり、チケットは完売となり、本後援会ツアーも満席となりました。御嶽海関、木曽で稽古を積んだ出羽海部屋力士の皆さん活躍を期待したいと思います。

御嶽海後援会では新弟子希望者情報募集しています！